

## 戌いぬのアレ

あのう、と電話が入る。  
「腹巻きのお祓いを…」  
「腹巻き、ですか？」  
「はい。赤ちゃんの…」  
「腹帯のことですね。」  
「ええ。戌のアレ…」  
腹巻きというのは天才  
バカボンのパパが腹に巻  
いていたあいつたもの  
だが、この場合は腹帯で、  
正しくは安産祈願という。  
神の御霊をいただいて  
母親の胎内で十月十日を  
過としますと、赤ちゃんが生  
まれてくる。そこで妊娠  
五ヶ月目の戌の日に懐妊

の報告と安産を願って神  
に祈願する。この安産祈  
願が過ぎると岩田帯いわたおびの着  
帯式が行われる。岩田帯  
は、この日から出産の忌  
みに入るということから  
忌肌帯いばけおびからきた言葉であ  
る。お腹の赤ちゃんはず  
でに生命のある存在であ  
る。それで十月十日をお  
よそ一年と数える。これ  
が数え年である。  
今から十数年前のこと。  
九州鹿児島にある霧島神  
宮の古宮跡に参拝した。  
そのときいつたい何が起  
こったのか、気がつくとも  
ゴロゴロした石の上に正  
座して泣き崩れていた。

ただ無性に哀しくて、懐  
かしいどなたかと話をし  
ていた記憶だけが残って  
いる。支えとなつておら  
れる存在があると、その  
時から思うようになった  
のである。誰もが目には  
見えない力によつて導か  
れている。本末を知ると  
だ。

### 七五三祝祭 十一月十五日

三歳と五歳の男児、三歳と  
七歳の女児を連れて宮参りす  
ることを七五三詣ななごさんといふ。  
神様に愛児の成長を感謝し  
今後のご守護をお願いする。  
三歳 平成十九年生まれ男  
五歳 〃 十七年生まれ男  
七歳 〃 十五年生まれ女  
祈願受付 十一月一日～十五  
日までの土・日・祝祭日の午  
前九時半～午後四時迄  
※他の日を希望の場合 要予約